

# 令和5年度 神戸市立図書館 事業評価

令和6年7月  
神戸市立図書館協議会

令和6年7月

## 令和5年度の取組項目と具体的取組及び評価項目

### 評価の基準

- A：計画どおり実施し、一定の成果があった  
 B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った  
 C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

取組項目	具体的取組
<b>1 資料の充実</b>	
(1)学習拠点としての資料の充実	<p><b>【学び直し関連図書や子育て支援コーナーの見直し、買い直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の購入リクエストを参考に、マンション管理やファイナンシャルプランナーなど、需要の高い資格試験の参考書を購入。</li> <li>・学び直しコーナーを新設し、関連図書を積極的に収集し、リスキングや生涯学習の支援につながる資料の充実を図った（北）</li> </ul> <p><b>【電子書籍の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度末時点のコンテンツ数 4,972点（令和4年度末 4,621点）※前年比108%</li> <li>貸出者数 21,986人（令和4年度末 20,662人） ※前年比106%</li> <li>貸出冊数 39,029冊（令和4年度末 38,920冊） ※前年比100.3%</li> <li>・人気の高い実用書、時代小説や文学賞の受賞作品、洋書など、全体のバランスを考えながら幅広く選定。</li> <li>・電子書籍利用の端緒となるよう、旅先への携帯に便利な『るるぶ』等の旅行書を積極的に購入。</li> <li>・館内で行う展示に合わせて関連資料を電子書籍で購入。展示会場でPRを行い、電子図書館の利用促進を図った（中央・陳舜臣展）</li> <li>・今年度も引き続き2種の児童書の読み放題パック（「講談社 朝読おすすめ50点パック」「国土社『調べ学習パック』50点パック」）を購入。今後は学校園での児童・生徒の利用を目的に連携とPRなどを進めていく予定である。</li> </ul> <p><b>【オンラインデータベースの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日新聞データベース「毎索」を導入（中央）</li> <li>・判例・法律雑誌データベース「判例秘書INTERNET」を導入（中央）</li> </ul>
(2)ユニバーサルデザインに配慮した資料収集	<p><b>【読み上げ機能付き電子書籍の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み上げ機能付きコンテンツを多く提供できるベンダーと契約。</li> <li>・提供総コンテンツ数5,060のうち、読み上げ機能付きコンテンツ数は2,498（R6.6月現在）で、全体の約49.3%を占める。購入数の約半数は読み上げ機能のあるコンテンツを購入し、提供している。</li> <li>（参考）兵庫県立図書館の提供総コンテンツ数6,277のうち、読み上げ機能付きは709（11.2%）</li> </ul> <p><b>【多言語資料の収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は電子書籍コンテンツ購入にあたり、一部、Collins Peapod Readers等、レベルに応じた英語学習や多読学習に使える多言語資料を購入した。</li> <li>・R5年度受入外国語図書419冊（R4年度受入外国語図書327冊）</li> <li>・所蔵冊数（R5年度末）11,327冊 ※中央を除く（中央が所蔵する古い資料のデータには言語区分が未入力のものも多く含まれるため正確な数値は不明）</li> </ul>

<p>(3)新館整備のための資料収集</p>	<p><b>【垂水図書館と北図書館用の資料収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5 年度新館用受入冊数 垂水図書館 6,232 冊、北図書館 6,076 冊</li> <li>R4 年度新館用受入冊数 垂水図書館 5,503 冊</li> <li>蔵書冊数 (R5 年度末) 垂水図書館 88,236 冊、北図書館 89,097 冊</li> <li>蔵書冊数 + 新館用受入冊数 垂水図書館 99,971 冊、北図書館 95,173 冊 ※いずれも寄贈を含む</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新垂水図書館、新北図書館の開館に向け、「新館用」として資料を収集。収集した資料は中央で保管。</li> <li>・新館用資料の収集では、比較的発行年の新しいものの中から、図書館として長く所蔵しておきたい資料や、児童書においては既に長く読み継がれている名作を中心に選書。</li> <li>・それぞれ約 12 万冊での開館に向けて、R6 年度も精力的に収集を行う。</li> </ul>
<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新館用の資料収集については、両館とも年間購入冊数が、目標の各 10,000 冊以上(既存館用を含む)を達成し、計画的な資料収集を進めている。</li> <li>・R5 年度は、限られた予算の中で、また、新館用資料の収集においても、市民の要求に応える資料、新たな利用を獲得できる資料は何かを念頭に置きながら、1点1点よく吟味しながら選書を行った。</li> <li>・電子書籍収集の取組みとしては、読書アクセシビリティを保障するため、読み上げ機能付きコンテンツであることを前提に、読みやすい、読んでみたいと思える資料を選定することを心がけた。また、定期的に新しいコンテンツをアップすることで、電子図書館の魅力を保つよう努めた。</li> <li>・さらに子育て支援コーナーの利用頻度を高めるため、設置場所についての検討が必要。(中央)</li> </ul>	
<p><b>【図書館協議会の所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み上げ機能付き電子書籍が充実したこと評価できる。</li> <li>・電子図書館の分類や検索のしかたが分かりにくい課題がある。</li> <li>・「資料の充実」という意味では、(量ではなく)質的向上ができていないかどうか、判断材料がない。</li> </ul>	

<p>評 価</p> <p><b>B</b></p>
----------------------------

<p><b>2 学習機会の提供</b></p>	
<p>(1)仕事や地域活動に役立つ情報・機会の提供</p>	<p><b>【講座、講演会、展示の実施】</b></p> <p><b>【その他イベントの実施】</b></p> <p>イベント開催数 28 回</p> <p>参加人数 481 人</p> <p>展示の回数 73 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスコーナーピックアップ展示「何がかわった、インボイス」(三宮) 10/18~11/17</li> <li>・修理本教室(灘) 11/19 9 人</li> </ul> <p>ページ外れ本の糊入れや、本のコーティングを体験してもらう</p>
<p>(2)生活の質を高める情報・機会の提供</p>	<p><b>【講座、講演会、展示の実施】</b></p> <p><b>【その他イベントの実施】</b></p> <p>イベント開催数 276 回</p> <p>参加人数 6,867 人</p> <p>展示の回数 661 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間講演会「大西寿男氏講演会 言葉が伝わるよろこびを — 本を支える校正の仕事」(中央) 11/12 82 人</li> </ul>

- ・資料展示「CINEMA×BOOK」（灘）毎月第2、第4日曜  
大人の映画会関連書籍を展示
- ・読書会（北）11回 累計102人
- ・ハッピーバッグ（福袋）（北）10/21～11/12
- ・参加型展示「推して推してもっと推して」（北神）10/24～11/12
- ・シン・ナガタ読書会（新長田）4回
- ・ボードゲーム×本～読むだけではもったいない～（新長田）10/22
- ・企画展示「スタッフのプライベート本棚のぞき見!？」（新長田）通年
- ・長田区今月の主人公（新長田）4/22、7/9、9/10、1/21 累計18人
- ・開館記念 本の福袋（須磨）9/1～9/9  
須磨図書館の開館42周年にあわせ、同じテーマの本2冊セットの福袋を42袋、赤ちゃん～大人を対象に展示貸出
- ・大人のための朗読会（須磨）5/23、9/28、12/6 累計28人
- ・新春 本の福袋（須磨）1/4～1/13
- ・参加型展示「私の推し本教えます！」（西）10/24～11/12
- ・雑誌リサイクルフェア（中央・東灘・北・北神・新長田・西）10月～11月  
保存期間が過ぎた雑誌を読書週間中にフェアとして市民譲渡した。これ以外の館は、常設で定期的に譲渡した。

**【図書館の自己評価】**

- ・定例の行事以外にも、ただ展示するだけでなく、参加型のイベントを多くすることができた。特に「推し本」などは、ただ読書をするだけでなく、個人の感想を共有することで、さらなる読書活動へ活かすことができるイベント型の展示で、利用者からの参加も多く、今後はこういった展示が増えると思われる。
- ・中央ではコロナ禍で中止していた、本に関わる方をお呼びする講演会を開催。NHK「プロフェッショナル」の撮影でご縁を得た、校正者の大西寿男氏をお迎えし、好評であった。
- ・修理本教室では、修理やコーティング体験を通して本を大切に利用することの重要性を再確認していただけた。参加者が修理ボランティアへ登録していただき、市民交流が生まれる良い機会となった。

**【図書館協議会の所見】**

- ・委員全員がA評価で異論なし。

評 価

A

### 3 関係機関との協働

#### (1)行政機関との連携

イベント開催数 72 回

参加人数 6,456 人

展示の回数 166 回

#### 【福祉局、健康局】

- ・福祉局 認知症展示（全館）9 月
- ・健康局 自殺予防展示（全館）3 月・9 月

#### 【各区地域協働課】

・みんなの学び場イオンモール×兵庫図書館@みらい会議（兵庫）4 月～3 月毎月  
スタッフの選んだ本を毎月、30 冊程度、団体貸出でイオンモール神戸南に貸出し「みんなの学び場」へ展示。※兵庫区未来会議を契機にイオンモール内の自習室機能を持ち合わせた文化サロン（学び場）を図書館、区役所及び未来会議メンバー（地域の個人、企業、NPO、団体）で協力・連携の下、創設

#### 【文化財課、埋蔵文化財センター、文化交流課】

・なでしこ芸術文化センター開館 1 周年記念イベント「バイオリン・フルート・ピアノのミニコンサートと図書館スタッフによる本の読み聞かせ」（西）9/30 130 人  
西神中央ホールホワイエエリアにてミニコンサートと図書館スタッフによる絵本の読み聞かせを実施。ホール壁面棚に関連本を展示。

・公民館 2023 サマースクール  
「宿題バッチリ！読書感想文の書き方～読書感想文が苦手な人にちょっとヒント～」（中央）  
8/13 71 人

#### 【KIITO】

・読書会「積んどかナイト～その本、積んどかナイで読みませんか～」(三宮) 12/22 10 人  
交流機会の創出と KIITO の活動を知っていただくきっかけづくりを目的とした読書会。三宮図書館は選書時の相談、告知、当日のスタッフ参加で協力。

#### 【こども本の森 神戸】

・館長たちのおはなし会 in こども本の森『おはなしムッシュがやってきた！！』（東灘・灘・三宮・新長田・須磨）9/30 計 107 人  
こども本の森・神戸の館内大階段にて男性館長の読み手たちによるおはなし会

#### 【ほか】

・防災科学技術研究所・危機管理室  
防災展示「地震にそなえとう？」（中央）1/12～1/26

・地域協働局地域協働課、ちいきいと実行委員会  
「本しか売らない駄菓子屋さん」展示（兵庫）12/3～12/28  
駄菓子 10 種を連想させる本を福袋（駄菓子のパッケージ、包装を模したもの）に入れて展示

・神戸市文化スポーツ局文化財課  
秋の古民家で朗読ライブ（北）10/2 大人 32 人子供 1 人

・北区役所管理組合、ベルスト鈴蘭台  
ブックトーク（北）7/16、11/19、3/17 計 74 人  
ベルスト 5 周年イベント「まちのみんなで”心のベル”を鳴らそう！」資料展示（北）9/23

・神戸地方方法務局  
講座「終活、していますか？～遺言などについて学ぶ～」（垂水）6/23 14 人

	<p>・神戸市民文化振興財団 資料展示【筒井康隆×ジャズ大名】文化ホール公演「ジャズ大名」連携企画（三宮、垂水、中央）</p> <p>・西神中央ホール 「三文オペラ」出張展示（西）6/10 アートウォール展示「イベント総選挙」（西）11/14～11/30 183人 12月に実施するイベントをイベント候補の中から利用者の投票で決定する</p> <p>・兵庫県警 交通安全教室（東灘・新長田）各館年4回</p>
(2)学校園との連携	→6子供サービスの項へ
(3)大学との連携	<p><b>【神戸大学、神戸常磐大学等、地元大学との連携イベントの開催】</b></p> <p>イベント開催数 20回 参加人数 284人 展示の回数 4回</p> <p>・神戸大学 東灘区の学術にふれよう・神戸大学編「神戸大学深江キャンパスの沿革-教育施設などのトピックスを中心に-」（東灘）11/26 24人 矢野吉治氏（神戸大学名誉教授、同大学元・海事科学研究科教授、第10代深江丸（現在の練習船海神丸の前船）船長） 神戸大学海事科学部の歴史や練習船「深江丸」に関する講演。</p> <p>・甲南大学 講演会「検証 ナチスは『いいこと』もしたのか?」について語る（三宮）10/21 23人 田野大輔氏（甲南大学教授）</p> <p>・神戸女子大学 書籍館喫茶本と私と珈琲（新長田）12/10 13人 神戸女子大学珈琲同好会による珈琲の試飲と豆知識、図書館スタッフと学生による珈琲ブックトークを合わせたイベント</p> <p>ビブリオ部×須磨図書館連携展示「コレ、おすすめです!!」（須磨）2/14～3/10 神戸女子大学ビブリオ部員と図書館スタッフのおすすめ本と紹介POPの展示</p> <p><b>【実習やインターンシップの受け入れ】</b></p> <p>・神戸女子大学（2名）、神戸松蔭女子学院大学（1名）、同志社大学（2名）（中央） ・神戸市立神港橋高等学校（兵庫）</p>
(4)企業との連携	<p>イベント開催数 27回 参加人数 929人 展示の回数 21回</p> <p><b>【日本政策金融公庫との共催ビジネス支援講座の実施(中央)】</b></p> <p>・ビジネス講演会「起業をかたちに2024 創業する前に知っておきたいこと」（中央）2/21 34人 日本政策金融公庫所長</p>

### 【その他地元企業との連携】

- ・ 双日株式会社、博物館、行財政局、  
資料展示「鈴木商店と神戸の歴史・文化を再発見～図書館蔵書でたどる」（中央）4/15～5/7
- ・ ファミリア×神戸市立中央図書館 しおりをつくろう！空想図鑑「なんの本をよんでいるのかな？」（中央）8/17 21名
- ・ 菊正宗酒造 東灘区の企業にふれよう・菊正宗酒造株式会社編「なぜ灘五郷は日本一の酒どころになったのか？」（東灘）1/28 20人
- ・ BL 出版、KIITO 絵本『ちきゅうパスポート』原画展（三宮）7/19～8/6  
ウクライナでの戦争をきっかけに、24 人の絵本作家が平和への祈りをこめて共作した絵本『ちきゅうパスポート』（BL 出版）の原画展
- ・ 神戸・元町映画館×兵庫図書館コラボ企画 vo3 本×映画×哲学教育『ぼくたちの哲学教室』（兵庫）7/1～7/30  
神戸・元町映画館で上映する映画とその内容に関連した本の展示。
- ・ 合同会社フォレスト・リミット 「狂気山脈」パイロット sy トフィルム上映会&まだら牛氏トークイベント（北神）4/20 42人
- ・ 大丸須磨店 資料展示「SDGs～明るい未来へ一歩ずつ～」（名谷）6/7～6/19
- ・ 大丸須磨店 防災イベント in 名谷駅前広場「すまもる」連携展示（名谷）9/23～9/30
- ・ 森林植物園で本と植物のフェスタ（第2回）（兵庫・北・北神・名谷）5/28 412人  
森林植物園で「絵の本ひろば」を実施。絵の本ひろば（絵本約400冊）、工作会、読み聞かせアーティストによるワークショップ等。提携先は絵の本ひろば実行委員会、神戸電鉄、好日山荘、BL出版株式会社、神戸市立森林植物園。

### (5)地域団体・NPO との連携

イベント開催数 64 回  
参加人数 1,925 人  
展示の回数 129 回

#### 【連携先と相互に利用 PR】

- ・ 神戸アーカイブ写真館 写真パネル展（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西）16 回  
神戸アーカイブ写真館より借り受けた写真パネルの展示

#### 【外国人をサポートする団体との連携による講座やイベントの開催】

- ・ 留学生版トライやるウィーク3（兵庫）8/25～8/27 2人  
兵庫区みらい会議・主催、企画運営 NPO 法人 Oneself の留学生版トライやるウィーク
- ・ NPO 法人神戸定住外国人支援センター 絵本の読み聞かせ（新長田）9 回  
NPO 神戸定住外国人支援センターにおいて、図書館スタッフによる在日外国人児童への読み聞かせ

#### 【その他関係団体との連携による講座やイベントの開催】

- ・ 住吉歴史資料館 『わたしたちの住吉』からみる住吉地区の住みやすさの秘密をさぐる（東灘）9/17 24人
- ・ 公益社団法人兵庫県看護協会 まちの保健室（東灘）6 回 計 77 人
- ・ 楽喜（ラッキー）落語研究会 気軽に落語会（灘）4/16、7/16、10/15、1/21 計 57 人
- ・ 神戸市産業振興財団 榎原杏奈さん講演会「Instagram で「好き」を仕事にしよう お仕事に

- つなげる基本の SNS 発信」(三宮) 9/13 13 人
- ・ NPO 法人 C.A.P. (芸術と計画会議) 六甲ミーツ・アート 2023beyond・CAPLABO「六甲山町図書館」展示(兵庫) 8/26～9/18
  - ・ 大人の学び直し講座「世界史に踊る神々の集いへようこそ！」(北神) 8/19 17 人  
定時秀和氏(高校教師)による講演会。身近な物事から世界史を掘り下げる講座。
  - ・ 神戸市立森林植物園 こどもフェスタ 2023(「森のおはなし会」、工作会「マイうちわをつくろう！」)(北神) 8/20 各大人 14 人子供 17 人、大人 57 人子供 60 人
  - ・ 助産所ポスター ポスター文庫(出張展示・団体貸出)(須磨) 12 回
  - ・ 神戸華僑歴史博物館  
「神戸の作家陳舜臣を読む～陳舜臣生誕 100 年記念～」(中央) 2/1～2/29
  - ・ 神戸・図書館ネットワーク みょうだに読書の会(名谷) 7 回  
おおくらやま読書会(中央) 2 回
  - ・ 神陵台ふれあいのまちづくり協議会 懐かしの地元をふり返る(垂水) 9/8 16 人

#### 【図書館の自己評価】

- ・ コロナ禍があけ、集客ができるイベントをすることができるようになった。他部局だけでなく、大学からの依頼や企業との連携などが増え、R5 年度は特に、地元企業である、双日やファミリア、菊正宗酒造等との連携もできた。
- 西神中央ホールとの連携によるイベントが好評で、今まで図書館単独ではできなかった内容や規模の併設した施設との連携イベント等の展開ができればと考える。
- ・ 法務局との連携による終活セミナーや、産業振興財団との連携による SNS を活用したビジネス講演会など、届けたい人と知りたい人をつなぐイベントを数多く実施できた。今後も潜在的な需要を発掘し企画につなげていきたい。

#### 【図書館協議会の所見】

- ・ 多くの行政部局や団体と連携し、講座やイベントを実施しているところが評価に値する。
- ・ コロナが収束し始めイベントが増え、活動が活発になっている。
- ・ 国際的な連携やプラットフォーム上での取り組みも進めており、評価できる。

評価

A

## 4 図書館の整備と新たなサービス

### (1) 図書館の移転再整備

#### 【垂水図書館】

- ・ 文化財調査完了。
- ・ 建設工事に向けて、入札不調となっていた工事事業者の再入札を行い、決定。2 月に着工した。内装や製作家具等の打ち合わせと確認作業を開館に向けて進めている。
- ・ 住民説明会を 12 月に実施。

#### 【北図書館】

- ・ 実施設計協議
- ・ 旧北区役所解体工事に先がけて 12 月に住民説明会を実施。
- ・ 旧北区役所解体工事(1 月～)
- ・ 建設工事入札(入札不調のため令和 6 年度に再入札)

#### 【三宮図書館】



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和9年度完成予定のバスターミナルビル内への再移転にむけて、館内レイアウトや内装デザイン等整備内容を検討し、設計者との協議を進めた。</li> </ul>
<p>(2) ICT 技術を活用したサービスと情報提供</p>	<p><b>【地域資料の電子化および提供・発信の見直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市電子図書館に掲載している独自資料（図書館の発行物や所蔵資料）に、2024年1月新ジャンル「ふるさと神戸コレクション」を追加。R5年度は、有馬に関する資料を9点掲載した。今後も掲載点数を増やしていく予定である。</li> </ul> <p><b>【電子図書館サービスの利用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な新規コンテンツの購入及びトップ画面の特集の変更により、利用者を飽きさせないような工夫を行った。</li> <li>・図書館ホームページから電子図書館への入口を分かりやすくし、簡易マニュアルを掲載するなど初めての方が利用しやすいよう工夫した。</li> </ul> <p><b>【自動貸出機・予約図書自動受取機の利用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用方法や案内の表示をわかりやすく変更</li> <li>・本の福袋等のイベントでの自動貸出機の利用促進</li> <li>・動線などを見直し、児童コーナーへの自動貸出機（1台）の移設（中央）</li> <li>・予約図書自動受取機は、三宮図書館のが KIITO に仮移転した影響で、令和4年度の利用実績が前年比 181.0%と大幅にアップした。令和5年度も前年比 128.7%と順調に推移している。</li> </ul> <p><b>【図書館システムの新機能の利用促進】</b></p> <p><b>(マイナンバーカード連携・スマホ版図書館カードや Web 座席予約の利用促進)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカード連携、スマホ版図書館カードについては図書館カード作成時に手渡す利用案内に明記することで利用促進。</li> <li>・K-lib ネット利用促進キャンペーンを行った。</li> <li>・予約おたすけコーナー期間開設（須磨）3/26～3/30 4人</li> <li>・「図書館をもっと使いこなそう！～K-lib ネット・本の探し方講座～」(北) スマートフォンを使った K-lib ネットでの蔵書検索や予約の仕方についての操作説明 ①10時00分～10時30分(4人) ②11時00分～11時30分(1人)の2部構成</li> </ul>
	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移転再整備はそれぞれの計画の進捗に合わせ順調に進めている。</li> <li>・電子図書館はコンテンツを購入すると同時に画面表示を更新し、新しいものが目に留まるよう工夫した。</li> <li>・ICT等を活用した図書館の新機能については、初めての人にも認知してもらえるよう利用案内に努めるとともに、イベント等での利用促進を行った。特にスマホ版図書館カードは便利に使われているようである。</li> <li>・図書館における自習席の需要は高く、Web 座席予約システムの導入により、開館前から並ぶことなく席が利用できる安心感につながっている。同システムについて市民満足度調査で尋ねたところ 6割以上から満足しているとの回答が得られた。</li> </ul>
	<p><b>【図書館協議会の所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移転再整備は大変な仕事で、これが順調に進んでいることは評価できる。</li> <li>・図書館の新たなサービスとして、スマホ版の図書館カードや Web 座席予約システムなど、「ネクスト図書館」という形になってきている。</li> <li>・大学で扱うような専門書を求められる意見もあるが、公立図書館と大学図書館との機能の違いを明確にしつつ、連携して市民の方もどちらも利用できれば良い。</li> </ul>

<p>評 価</p> <p><b>A</b></p>
----------------------------

5 利用しにくい市民への環境整備	
(1)ユニバーサルデザインに配慮したサービスの提供	<p><b>【点字図書館との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字絵本・LLブックの常設書架を新設（三宮）</li> <li>背ラベルは視認性に配慮した大き目のシールを採用。</li> <li>・点字図書館を含めた読書バリアフリー法に関連する部局による情報交換会への参加とチラシなどの配布協力等。</li> </ul>
(2)ユニバーサルデザインに配慮した利用しやすい環境の整備	<p><b>【館内サインの見直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館1階入り口の案内掲示を変更。</li> <li>・書架見出しなどの計画と部材確保</li> </ul> <p><b>【利用支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム語のコミュニケーションボードをカウンターに設置(新長田)</li> <li>・拡大読書器（脚付きタブレット型）導入貸出サービス開始（須磨）</li> </ul> <p><b>【「やさしい利用案内」の作成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際課の協力を得て、「やさしい利用案内」の作成を行った。必要に応じてブラッシュアップを行い、窓口などでの配布予定。</li> </ul> <p><b>【大人向け多言語の利用案内作成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の来館者に対応するための『図書館利用方法(英語版)』を作成（北神）</li> </ul>
(3)図書館を利用していない市民層への働きかけ	<p><b>【図書館の新機能のPR】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS (X) による情報発信</li> <li>令和6年6月時点でフォロワー946人（昨年同月比298人増）</li> <li>須磨海浜水族園閉園に伴うツイート（中央・5月、249いいね、2.6万件表示）『KOBEの本棚』バックナンバーを添付</li> </ul> <p><b>【利用促進をはかる館内外での利用講座、「出前トーク」の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前図書館見学（垂水）5/25 大人7人、子供59人</li> <li>小学校に出向いて、パワーポイントを使っての図書館見学、利用案内、大型えほんの読み聞かせ、Q&amp;A等</li> </ul> <p><b>【ママフレや長田区アプリ等メディアへの情報提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て応援サイト「こどもっとKOBE」（子ども家庭局）による図書館員の絵本紹介（中央）</li> </ul> <p><b>【ホームページ等を利用した転入者への図書館案内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ホームページから利用者が必要な情報を探しやすいよう、図書館トップページのアイコンのデザインを変更。</li> </ul>
<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な理由から図書館を利用しにくい市民への環境整備として、WEB上でSNSや神戸市の他部局のサイトを使って情報提供をおこなった。</li> <li>・館内サインや利用案内、窓口でのコミュニケーションボードの作成等、母国語を日本語としない方に直結するツールを整えることにより、より身近で使いやすい図書館となる工夫を行っており、今後も続けていきたい。</li> <li>・「出前図書館見学」はコロナ禍の際に、図書館見学に来られない学校園に対して、図書館が出張するサービスであったが、養護学校や支援学校などのように、障害がありその場所から動けない方などに、図書館をPRできる有効なツールであると考えている。学校園だけでなく、そういった要望も掘り起こしていきたい。</li> <li>・読書への障がいはいはそれぞれである。他部局との連携を行う中で、情報交換や収集しながら、新たなサービス展開を検討中である。</li> </ul>	
<p><b>【図書館協議会の所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字絵本・LLブックの常設書架は全館にほしい。また、外国人等への対応は今後も前進させてほしい。</li> <li>・館内サインの多言語対応などはすぐ対応できるのではないかと。</li> <li>・この項目は多様な部分を取り扱っているため取り組むべき課題が多く、現状で十分にできているという評価は難しい。現在進行形で取り組んでいる過程にある。</li> </ul>	

評 価
B

## 6子供サービスの充実と学校図書館支援

(1)生涯にわたって読書  
を楽しむ習慣を育てる  
ための読書環境の整備

### 【乳幼児と保護者向けサービス】

イベント開催数 373 回

参加人数 6,398 人

- ・3歳児健診 読み聞かせ（三宮）11月～毎月
- ・ワークショップ「もう一度！お名前プレゼント♪」（垂水）4/29 大人5人子供6人

### 【館内外での子供と本をつなぐイベント】

イベント開催数 984 回

参加人数 18,738 人

展示の回数 495 回

- ・神戸キワニスこども文庫おはなし会（中央）9/9 大人17人、子供21人  
高校生ボランティアによる英語のおはなし会の開催
- ・人形劇がやってくる（灘）7/27 大人3人、子供9人、11/11 大人6人、子供12人
- ・OJIZOO 特設掲示板展示（灘）毎月  
王子動物園、動物科学資料館に関するニュースやイベント情報を随時お知らせする掲示板と共に、動物に関する資料を展示
- ・えほんマスターをめざそう！（三宮）9/24、10/1、10/8 子供2人  
図書館職員が小学生に読みきかせを指導。受講者はこども本の森で、満席の観客に読みきかせを上演。こども本の森、KIITOとの連携。
- ・メリケンパーク出張おはなし会（三宮）11/3、11/4、11/5 累計大人30人、子供30人  
神戸港“U”パークマネジメント共同事業体と連携。
- ・兵庫区こどもプロジェクト 出張青空図書館「としょかんの縁日」（兵庫）7/23
- ・ぐりとぐらクイズラリー（北）11/3～11/5 子供21人
- ・本の福袋「ハッピーバッグ」4/22～5/8、「ホラーバッグ」8/19（北）
- ・鈴蘭台西町保育所出前おはなし会（北）8/24、12/14、2/20
- ・北神図書館秋まつり（絵の本ひろば・大きな絵本のおはなし会）（北神）9/17
- ・としょかん de ハロウィン（北神）10/21～10/31 配布：374人撮影：231人  
カウンターで貸出時に合言葉「トリックオアトリート」で手作りしおりを進呈、ブックラウンジにハロウィンのフォトスポットを設置
- ・図書館でボードゲーム（新長田）8/4 子供6人
- ・ふたばえほんの会（新長田）ふたば学舎 10回
- ・こわいおはなし会（須磨）6回
- ・ストーリーテリングの世界 ことばで楽しむおはなし会（名谷）10/21 大人6人子供3人

・図書館えんにち in 名谷ふれあいまつり（名谷）11/4 大人 86 人子供 118 人  
絵本、写真の本などを段ボール製面展覧台に展示 大型絵本の読み聞かせ

・絵の本ひろば in 落合っ子フェスタ（名谷）10/14 大人 53 人子供 90 人

・よるのさんぽ～ぬいぐるみのおとまり会～（垂水）12/16～12/19 子供 6 人

・図書館ツアー（西）5/3、5/14 子供計 11 人

・おはなしでてこい（西）10/29 大人 40 人子供 30 人

・アートウォール展示「みんなでクリスマスツリーをかざろう！」（西）子供 194 人

・クラウドファンディング

8月7日～11月5日、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングを実施。目標額として 300 万円を設定したところ、開始から 39 日目には目標額に到達し、終了時には目標額をはるかに超える 925 万 7 千円もの額に達した。寄付金は、絵本・児童書・児童コーナーの備品購入に活用。

### 【小・中学生への調べ学習支援(調べ学習イベント、パスファインダー作成等)】

イベント開催数 11 回

参加人数 121 人

展示の回数 6 回

・夏休み親子新聞教室（東灘・新長田・須磨・西）計大人 29 人子供 32 人  
神戸新聞との連携

### 【YAコーナーの充実を中心とした青少年層への読書推進】

イベント開催数 9 回

参加人数 20 人

展示の回数 179 回

・あなたの「押し本」教えてください（北）11/11～11/30 投票数 66 票

・ゲームさんぽ×図書館（北神）10/24～11/12

人気のゲーム実況シリーズ「ゲームさんぽ」に登場した専門家たちの本を展示

・YA かわら板うろおぼえコンテスト（須磨）7/11～9/30

須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」のうろおぼえのイラストを募集・館内に掲示

・ユースステーションに YA 向け情報ボード設置（垂水）

・YA 世代の利用促進のためコーナーを学習室のある 3 階壁面書架へ移設（西）4/24

### 【学校と連携した中高生参加のイベント】

イベント開催数 2 回

参加人数 940 人

展示の回数 8 回

・講演「図書館活用のコツ ～探究を 100 倍楽しむために～」（名谷）12/6 273 人

・伊川谷北高校 POP 展示「本しか勝たん。2」（垂水）1/16～2/18

(2)学校園との連携

【団体貸出による資料提供】

	<p>「テーマ本集め」貸出回数：236回 「総合学習用図書」の貸出（中央）24セット48箱</p> <p><b>【幼稚園巡回図書の実施】</b></p> <p>公立幼稚園29園、私立幼稚園12園 巡回回数123回4,920冊（中央）</p> <p><b>【学校図書係と連携した研修など、学校司書支援】</b></p> <p>新規採用学校司書研修（中央）4/19 8人 学校司書全体研修（中央）4/25 約140人 於：総合教育センター10階</p> <p><b>【教員・学校司書への新刊紹介等、情報提供】</b></p> <p>・広陵小学校・北五葉小学校 出張ブックトーク（北）計5回</p>
<p>(3)子供の読書活動推進に関わるボランティア等との連携や支援</p>	<p><b>【ボランティア団体との連携企画】</b></p> <p>・こうべ子ども文庫連絡会 夏休み特別おはなし会（中央）7/25 大人28人子供40人</p> <p><b>【読み聞かせ等のボランティア活動に役立つ講座の開催や新刊本等の情報提供】</b></p> <p>・ボランティアスキルアップ講座「近刊紹介」（中央）28人</p> <p><b>【読み聞かせ人養成講座の開催】</b></p> <p>神戸市内で読み聞かせなどの活動を始めたい、あるいは既に活動されているボランティア向けに、読み聞かせについての基本的な事項をベテラン講師から学べる講座を開講。基礎コースと応用コースがあり、各5日間受講する。新型コロナウイルス感染症のため、2年間（R2・3）中止していたがR4春季より再開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●読み聞かせびと養成講座 基礎コース（春季） （水曜）講師：一居明子先生 受講者15人 修了14人 （木曜）講師：石橋由美子先生 受講者15人 修了13人</li> <li>●読み聞かせびと養成講座 応用コース（春季） （水曜）講師：野間泉先生 受講者9人 修了8人 （木曜）講師：藤澤晴子先生 受講者7人 修了6人</li> <li>●読み聞かせびと養成講座 基礎コース（秋季） （午前）講師：一居明子先生 受講者15人 修了13人 （午後）講師：石橋由美子先生 受講者15人 修了9人</li> <li>●読み聞かせびと養成講座 応用コース（秋季） （午前）講師：野間泉先生 受講者10人 修了10人 （午後）講師：藤澤晴子先生 受講者6人 修了5人</li> </ul>
	<p><b>【図書館の自己評価】</b></p> <p>・本を好きになってもらい、図書館も利用してもらうための取り組みとして、R5年度も多くのイベントをおこなっている。特に、図書館へ足を運ぶ暇のないYA世代に向けた、「推し本」や「本しか勝たん」などは、耳で聞き触りのいいタイトルを選んで引き込み、読書活動へ繋げるなど、各館で工夫を凝らしたイベントをおこなっている。</p> <p>・中央では、昨年度に引き続き、読み聞かせを行うボランティアの養成を行う講座を続けており、R5年度も多くの方からの応募があった。講座終了後、受講生がボランティアグループに加入したり、それまで自己流で読み聞かせをしていた方が講座での学びを得て、グループ内に伝え広めたり、一層学びを深めたりといった、効果が現れている。</p>
	<p><b>【図書館協議会の所見】</b></p> <p>・次世代を担う子供たちに向けて手を抜くことができないテーマ。 ・子供たちが電子図書をどんどん使う社会になる。従来は子供からスマホを遠ざけがちであったが、子供たちにスマホを良いように使ってもらう方向へシフトしていくことになる。 ・児童・生徒一人一人が文部科学省のGIGAスクール構想の端末で電子書籍を利用できるようにする取り組みはとても重要で、進めてほしい。</p>

評 価 <b>A</b>
-----------------